

超塑性に関するイワサキワークショップ (Iwasaki Workshop on Superplasticity)

東京大学大学院新領域創成科学研究科

教授 佐久間健人

(平成14年度国際会議等開催準備助成 AF-2002026)

キーワード：超塑性、粒界すべり、

開催日時：2003年2月1日

開催場所：姫路工業大学書写記念会館（姫路市）

会議報告：去る2003年2月1日（土）に、姫路工業大学書写記念会館（姫路市）にて、「超塑性に関するイワサキワークショップ」が、イワサキワークショップ組織委員会と超塑性研究会との共同で開催された。本ワークショップは、姫路工業大学岩崎源教授の退官を記念し、超塑性の研究で世界をリードしてこられた内外の著名な研究者を招待して、開催されたものである。我が国で開催される超塑性に関する国際レベルの会議としては、1998年の「Towards Innovation in Superplasticity II」以来の久しぶりのものであり、国際的にトップレベルの研究者の参加を得て、大変貴重なワークショップとすることができた。

講演はすべて招待講演であり、丸1日かけてすべて40分のゆとりのあるプログラムが組まれた。講演者及び講演題目は以下の通りである。

Prof. O. Sherby

Grain Boundaries and Superplasticity.

Prof. T. G. Langdon

The role of grain boundary sliding in superplastic metals and ceramics.

Dr. T. G. Nieh

Deformation behavior of nanocrystalline metals and

alloys.

Prof. N. Ridley

Cavitation and failure in superplastic Al-based materials

Prof. T. Sakuma

A new approach to grain boundary plasticity and failure in oxide ceramics

Prof. K. Higashi

Development of high-strain-rate superplastic materials.

Prof. H. Iwasaki

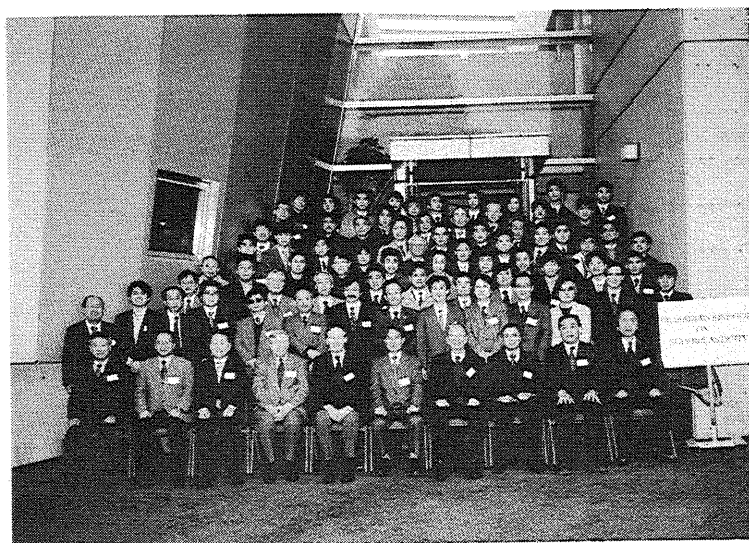
Superplastic forming limit diagram and cavitation for 5083 Al alloy.

参加者は登録段階で86名を数えた。

講演後には、姫路市内のホテルに会場を変えて、カンファレンスディナーがもたれた。ゆっくりとした歓談の後、この7月にオックスフォードで開催される8th International Conference on Superplasticity in Advanced Materialsでの再会を期して、お別れとなった。

プロシーディングスは、希望者には無料で配布する予定である。送料1000円を小為替で岩崎源（〒678-1226 兵庫県赤穂郡上郡町高田台 3-17-13、E-mail: gensan@rose.sannet.ne.jp）までお送りいただければ、折り返し宅配便でお送りする。

謝辞：最後に、本ワークショップの開催には天田金属加工機械技術振興財団の援助を頂いたことを付記し、謝意を表す。



IWASAKI WORKSHOP ON SUPERPLASTICITY
February 1st, 2003